

コロゴッチョスラムのコミュニティスクールを中心とした循環型社会形成のための総合環境教育活動(ケニア共和国)

〒116-0014
東京都荒川区東日暮里6-40-22
電話: 03-3805-5548
E-mail: littlebees@littlebeesinternational.org
https://www.littlebeesinternational.org/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



Mottainai 環境セミナー

環境セミナーの延べ参加者数 2,400人

植樹の延べ数 4,500本

今年度計画の達成度 80%

活動の全体目標に対する達成度 80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

スラムという地域特有のセキュリティを含む脆弱な生活・社会環境の課題に直面。環境への意識が優先課題として住民の中に根付くまでに時間がかかった。

■ 工夫した点

環境教育については、現地の実情に合った内容を現地の先生方や専門家の方主導で策定。草の根の環境意識を高めるため住民との対話を重視し、広く開かれた活動を展開した。

課題

コロゴッチョ・スラムにおいて、環境汚染(廃棄物汚染)が子どもたちや住民の呼吸器系・消化器系の疾患と貧困に直結するコミュニティの生活環境の悪化の原因となっている。

目標

環境教育を通じて、地域の住民、子どもたちに循環型社会形成のための環境意識を植え付け、生活廃棄物を20%削減させながら、地域の緑地化30%を達成させる。

活動内容と成果

スラムコミュニティで包括的な環境教育を実施。気候変動や環境汚染といったグローバルな環境課題へのローカルレベルでの対応と、草の根での環境活動を推進するための課題の共有と持続可能なコミュニティ開発に向けた啓発活動を行っている。2016年度より廃棄物管理システムの確立のためモデル地区でのゴミの分別活動も実施。環境面での成果が、社会経済面での成長につながっていくプロセスを体感することで、地域住民の一層の環境課題へのコミットメントを促進させている。



コミュニティでの植樹活動

全助成期間の活動を振り返って

当初は、スラムでさまざまな社会課題に向き合っている地域住民に環境活動への動機付けをどう進めていくかが課題だったが、セミナーやワークショップ等、回数を重ねるごとに住民からの熱気も感じることができるようになった。大統領選挙による治安の悪化、法令の施行によるビニール袋の使用禁止等、予期していない出来事にも見舞われたが、それを乗り越えるだけの団体としての基礎体力も確かについてきたことも実感できた。



地域の環境リーダー育成ワークショップ

今後の展望

これまでの活動で培った経験・知見・人的資源を活用しながら、環境劣化に起因する住民の健康被害をゼロに、特に子どもたちの健全な発育のための環境保全・向上に努めながら、差別の代名詞ともなっている「コロゴッチョ」(ごみ捨て場を意味)の名称を、環境意識の高いコミュニティの代名詞に変え、ケニアの環境モデル地区を目指し誰にとっても居心地の良い地域環境を創出するため、継続的に活動を行っていく。